

# 南丹保健所管内の感染症発生動向調査による週報 (急性呼吸器感染症定点、小児科定点、眼科定点、全数報告)

第 50 週 2025 年 12 月 8 日 ~ 2025 年 12 月 14 日

## 今週のコメント

南丹保健所管内では、インフルエンザが警報レベル継続中です。

また、水痘が警報レベル解除になりました。

全国・京都府全体(京都市以外)でも、インフルエンザが警報レベル継続中です。

## 2025 年第 50 週の報告です。

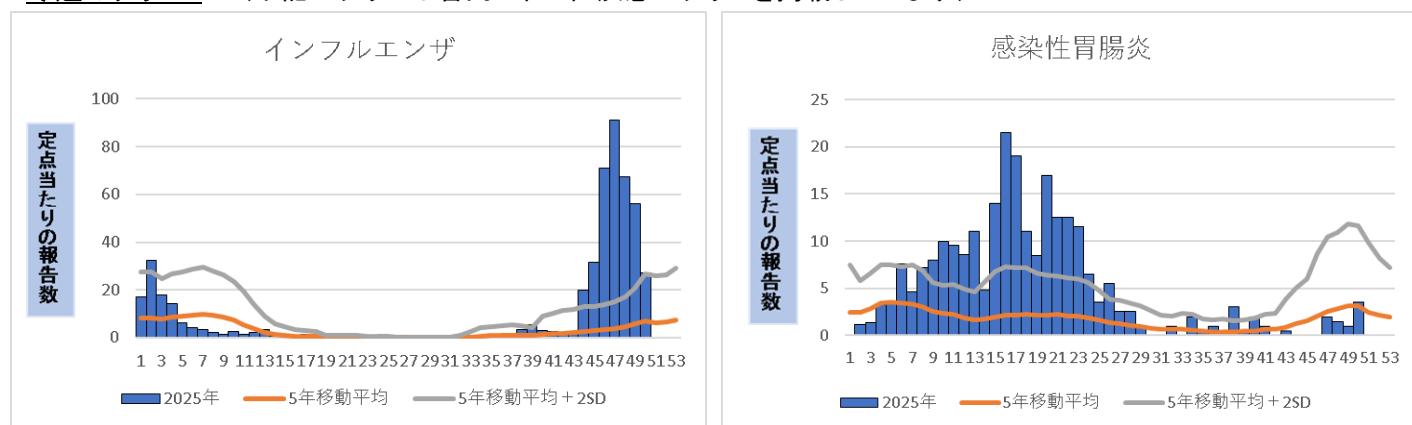
○インフルエンザの定点当たりの報告数は南丹 27.25(前週 56.25)、京都府 41.85(前週 46.55)となっています。

○感染性胃腸炎の定点あたり報告数は、南丹 3.50(前週 1.00)、京都府 4.53(前週 3.38)となっています。

○A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たりの報告数は南丹 3.50(前週 4.50)、京都府 4.23(前週 4.15)となっています。

○RSウイルス感染症の定点当たりの報告数は南丹 1.50(前週 0.00)、京都府 0.65(前週 0.51)となっています。

## 今週のグラフ (下記のグラフは管内上位2位疾患のグラフを掲載しています)



※横軸は週数 縦軸は定点あたりの報告数を示しています

1 『5年移動平均』は、過去 5 年間の平均値の変化を表しています。

2 『5年移動平均+2SD』は、過去 5 年間のデータのばらつきを考慮した上限を示しており、データの約 95%がこの線より下に収まるとしている基準です。

## 年末年始の感染症に備えましょう！

冬は気温が下がり、空気が乾燥するため、インフルエンザやノロウイルス等の感染症が流行しやすい季節です。

南丹保健所管内のインフルエンザの報告数は減少傾向にありますが、例年、冬期には増加する傾向にあります。

また、年末年始は医療機関の休診等もあり、医療体制がひっ迫する恐れもあります。

手洗いうがい等の基本的な予防策に加え、常備薬の準備や受診可能な医療機関の確認等、早めに行いましょう。

### ○年末年始に気を付けていただきたいこと

年末年始は、帰省等で人と合う機会や大勢で集まる機会が増えます。インフルエンザや新型コロナウイルス感染症等の感染拡大防止のため、以下のような予防対策を行いましょう。

- ・室内では、こまめに換気をする。
- ・外出後等の手洗いを励行する。
- ・室内は適度な湿度(50~60%)を保つ。
- ・咳・くしゃみが出る時は、他の人にうつさないためにマスクを着用し、「咳エチケット」に努める。
- ・過労や睡眠不足を避け、十分な栄養と休養をとる。
- ・解熱鎮痛剤をあらかじめ備えておく。

### ○年末年始(12/29~1/3)の救急医療体制について/京都府ホームページ

上記サイトより、京都府内の救急医療体制について確認いただけます。受診や救急車の必要性について迷った場合は、【救急安心センターきょうと】や【小児救急医療電話相談事業】もご活用ください。

	警報レベル		注意報	R7.50w		前週定点 (参考)
	開始	終息		定点当たり 報告数	前週比	
インフルエンザ*	30	10	10(流行1)	27.25	↓	56.25
新型コロナウイルス感染症				1.00	↓	1.50
RSウイルス感染症				1.50	↗	0.00
咽頭結膜熱	3	1		0.00	↓	0.50
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4		3.50	↓	4.50
感染性胃腸炎	20	12		3.50	↗	1.00
水痘	2	1	1	0.50	↓	2.00
手足口病	5	2		0.00	→	0.00
伝染性紅斑	2	1		0.50	↗	0.00
突発性発しん				0.00	↓	0.50
ヘルパンギーナ	6	2		0.00	→	0.00
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	→	0.00
急性出血性結膜炎	1	0.1		0.00	→	0.00
流行性角結膜炎	8	4		0.00	→	0.00

#### 急性呼吸器感染症(ARI)について

急性呼吸器感染症(ARI)とは、急性の上気道炎(鼻炎、副鼻腔炎、中耳炎、咽頭炎、喉頭炎)又は下気道炎(気管支炎、細気管支炎、肺炎)を指す病原体による症候群の総称です。インフルエンザ、新型コロナウイルス、RSウイルス、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナなどが含まれます。

南丹保健所管内第50週報告数は329件(定点当たりの報告数:82.25)でした。[京都府の情報ははこちら](#)



最新情報は下記のリンク先でご確認ください(関連リンク)

・[京都府感染症情報センター](#)

更新時期:(原則)毎週木曜日14時 前週分の状況を更新

・[感染症の情報\(国立感染症研究所\)](#)